



2025年12月10日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ユ ー ク ス
(コード番号: 4334 東証スタンダード市場)
代 表 者 名 代表取締役社長 谷 口 行 規
問 合 せ 先 コーポレート本部本部長 吉 原 謙 太
電 話 番 号 0 7 2 (2 2 4) 5 1 5 5 (代表)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2025年3月12日に公表した2026年1月期(2025年2月1日～2026年1月31日)の業績予想および期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2026年1月期通期連結業績予想数値の修正(2025年2月1日～2026年1月31日)

(単位: 百万円、%)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する当期 純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|----------------------------|-------|-------|-------|-------------------------|----------------|
| 前 回 発 表 予 想 (A) | 3,800 | 350 | 338 | 332 | 39.44円 |
| 今 回 修 正 予 想 (B) | 4,220 | 20 | 20 | 22 | 2.61円 |
| 増 減 額 (B-A) | 420 | △330 | △318 | △310 | — |
| 増 減 率 (%) | 11.1 | △94.3 | △94.1 | △93.4 | — |
| (ご参考) 前期実績 (2025年1月期通期) | 3,255 | 87 | 163 | 198 | 23.59円 |

2. 業績予想修正の理由

受託開発事業においては、売上高は、ゲームXR・遊技機分野ともに前期比増収を見込んでおりますが、ゲーム分野の一部受託案件の売上貢献時期が来期以降になるため当初の通期計画をやや下回る見込みです。

一方で、2025年8月29日付『株式会社アクアプラスの株式の取得(子会社化)完了に関するお知らせ』にて公表しましたとおり、株式会社アクアプラス(以下、「アクアプラス」という。)を子会社化いたしました。アクアプラスの売上を織り込んだ結果、売上高は当初予想を上回る見通しとなりました。

利益面につきましては、一時的な外注費の増加やM&A関連費用の発生が主因となり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに当初予想を大幅に下回る見通しとなりました。

3. 配当予想の修正

2026年1月期期末配当予想の修正内容

| | 年間配当金 | | | | |
|------------------------|--------|----------|--------|-----------|-----------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期 末 | 合 計 |
| 前回予想 (2025年3月12日発表) | — | | — | 13 円 00 銭 | 13 円 00 銭 |
| 今回修正予想 | — | | — | 10 円 00 銭 | 10 円 00 銭 |
| 当期実績 | — | 0 円 00 銭 | — | | |
| 前期実績 (2025年1月期) | — | 0 円 00 銭 | — | 10 円 00 銭 | 10 円 00 銭 |

4. 配当予想修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置付け、将来の事業展開と事業の特性を考慮した内部留保等を勘案しながら、安定した配当を維持しつつも業績に応じて株主の皆様に対する利益還元を行っていくことを基本方針として考えております。

配当額につきましては、連結配当性向30%を目安に決定することとし、急激な経営環境の変化により著しく業績が低迷するような場合を除き、1株当たり年間10円を配当の下限水準としております。

この方針にもとづき検討した結果、株主の皆様には誠に遺憾ではございますが、2026年1月期の期末配当予想を13円から10円に修正させていただきます。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上